

東京都青少年の健全な育成に関する条例改正案問題に関するプレスリリース

2010年3月18日

子どもの人権と表現の自由を考える会

代表：新川 淳平

情報担当：小島 朗

本日はお忙しい中、子どもの人権と表現の自由を考える会の、東京都青少年の健全な育成に関する条例改正案反対意見表明並びに、プレスリリースをお読み下さりありがとうございます。

本年3月12日に発覚した、東京都の青少年問題ですが、当会では昨年より東京都で行われてきた青少年部会等の議論等を受け、本件を東京都が主導するファシズム的人権侵害だと結論付ける事にいたしました。

事実として、特定の分野の作品に対して出版や流通を阻害したりする事は、大戦下のナチスドイツで行われてきた退廃芸術の流れを汲む物であり、また昨年より一部インターネットユーザーにより問題視されてきた、『アニメやマンガを見る人間は、障害者とする社会的流れを生み出せないだろうか』とも取れる発言は、選民思想に基づいた差別的発言であるとも取る事ができます。

当会ではこうした一連の流れや、東京都青少年部会自体の『差別を容認し、自ら差別を生み出そうとする姿勢』を受けて、青少年の健全な育成及び、平等な社会作り、人権教育をする上で密かに選民思想や差別思想を取り入れようとする姿勢そのものが、青少年にとって非常に有害であると結論づけます。

我々日本人は先の大戦に学び武力放棄、非核三原則、平等な社会作りを目指した憲法の制定を行い、平和と平等を義務とした社会作りに邁進してきたはずです。

当会では、東京都のようなファシスト的手法に基づき、青少年の人権を利用した退廃芸術の選定並びに、知る権利を排除し、子どもを自らの操り人形とする姿勢に断固反対します。

子どもの人権と表現の自由を考える会

URL: <http://cjhikangaeru.web.fc2.com/>